



ナカノ商会（東京都江戸川区、沼澤宏社長、03・5667・8877）は、時代に即した主力事業の態様を求め、成長を続ける物流会社だ。利益を育てるに投じ、人材を育ててきたことがその源泉となっている。

ナカノ商会は2017年8月16日に創立30周年を迎えた。沼澤社長が個人で事業をはじめ、1988年にナカノ商会を設立した。当初は大手物流会社の協力会社としてスタートした。06年9月期に売上高が100億円を超えた。これを機に元請け体質にシフトする。現在の元請け比率は約90%。06年9月期は50%以下だった。そして物流拠点の提

時代に即した物流追求

ナカノ商会

業員は現在、パートを含め約2200人になった。

供など倉庫、不動産に強い物流会社から、企業ランチャイス店も展開している。

現場出身の沼澤社長は特に運転手を大切にしている。基本的には「運転手は車が好きだ」と運転手の気持ちをつかみ取り、5〜6年でトラックを新車に切り替える。トラックは青・黄・白の「目立つ」カラーでデザイン。もちろん修繕費の削減と燃費の向上、安全に配慮する意味もある。運転手は完全週休二日制など労働環境もよい。今後も「従業員の教育と満足度を高めていく」（井川健一常務）。

主要荷主も大きく変わる。沼澤社長は「マンモスのように気が配れない」と変化を恐れない。その変化を支えるのが人材だ。採用は続け、育ててきた。沼澤社長が1人でスタートした同社も従業員は現在、パートを含め約2200人になった。



青・黄・白のコーポレート・カラーでデザインしたトラック

東京都と千葉県の臨海地区に強い同社だが、さらに人材に厚みがあれば、北関東と中部、中国地方にも主要拠点を開設し「（本州を）一気通貫できる体制を整える」（沼澤社長）と意気込む。

（千葉編集委員・中沖泰雄）

創立30年、成長支える人材